

第2回（7月31日、8月1日、8月2日合同実施）・第3回（8月8日）

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

—連続実践講座を受けて思いを宣言—

<問いかけ>「来年あなたはインタープリターとして活躍しています。どこで、どのように、どのような場面で活躍していますか？そのためには明日からどんな行動をしますか？」

	どこで、どのように、どのような場面で活躍していますか？	そのためには明日からどんな行動をしますか？」
1	社内でCSRのインタープリターとして自分の言葉で周りに伝える事ができるような後輩を作る	後輩が参考になる表現力を身に付ける。
2	さっぽろ大通の観光案内所でボランティアとして笑顔で観光客さんたちと対応しています。	基本的な情報を正確にきちんと収集する。 そして頭に入れる。
3	環境広場さっぽろ2011で、わかりやすく環境の取り組みや関わりを伝える。	・情報収集（環境のトレンド、自社・他社の取組） ・イメージする・何を伝えたい？伝えたい相手、誰に？ ・どうやって？何ができそう？ ・予算確保する。
4	今よりも自然に寄り添う場所で、地球や身の回りに負担、負荷をかける事なく生活している。現在の自分の仕事そのままであるかもしれないし、今とは違った仕事なのかもしれない。	地球や自然に負担をかけるであろう「無駄」な部分を今一度洗い出し、節約や省けることを改めて確認する紙（ノートなど）に文字として残し、見直ししながら実践していく。
5	道庁赤れんがで、ボランティアとして外来種などの脅威について、語っています。	北海道にいる外来の生物について調べます。 ために夫に説明してみます。
6	学生に今の自分の職業や過去の経験を伝えている。地域（世界の）課題について議論する。	社会を取り巻く様々なことについて情報を収集をし、それについて自分の意見を持つ事。
7	環境広場さっぽろ会場に1番詳しいインタープリターになる！→企業が何をやっているか知っていて、何でも説明できる。答えられる。お話を聞いて、今その人に何が必要か教えられるインタープリター。	今年のパンフレットをよく見て、企業について調べてみる。 →良く知る。まず知る。
8	1. 会社内で環境についての広報活動（わかりやすく説得力のある話し方） 2. 友人、家族と共に、より環境を考慮した生活活動の実践。	1. 話し方の訓練。人の話を聞く。 2. 環境に関するアンテナを広く張る。
9	自分の地元、南区町内会でのイベント事にて主催者側に立ち、企画から参加。意見を出す。	地元をより理解する。地元の現状を知る。地元の人に話を聞く。
10	生物の多様性や温暖化など環境問題について子ども	明日からきちんと疑問に感じ、それを調べ、要点をまと

	もに分かりやすく説明している。	めることを大事にする。要点をまとめた後は言葉を小学生にも分かりやすいように直していく。
11	札幌市の観光について札幌市観光案内所の他、イベント等でも外国人を相手とする紹介・企画・調整を試みる。	英語放送、映画、日常会話を通して英語の力のブラッシュアップに努める。シティガイド等教本を基に札幌市についての基本情報、歴史などをより詳しく認識する。
12	十勝で農業や食に関するグリーンツーリズムで訪れる人々にエコ循環型コミュニティーの姿を体験し、省エネルギーやフリーエネルギーについてお伝えしています。	観光ボランティアや生活の現場で伝えるプロになるトレーニングと断食をします。
13	札幌の街で観光ボランティアガイドとして市民や観光客を案内している。	体力をつけるためにスクワットを50回する。そして歴史的建造物等についてガイドの資料をまとめる。
14	家庭の省エネエキスパート、診断指導級佐山宏子です。主婦の方や子どもさんや一般の方々へ省エネ行動や省エネ機器、省エネ住宅のこと、環境問題やCO2削減のことなどを伝えています。	省エネ、環境でみなさんに顔が知られるようになりたいです。 自らの学習と小さな場でもいいので、セミナーなど伝えていく場を作っていきたいです。
15	観光ボランティアで、観光案内にとどまらず「環境首都・札幌」宣言をしている札幌市民として、環境都市としての札幌を観光客の皆さんにご案内している。今でも四季がハッキリした美しい自然をお勧めしているがさらに踏み込んで、その美しい四季を後世に残すために活動する様努力する。	自分の生活を見直す。 環境を含めてアンテナをはりめぐらして生活する。
16	札幌市観光ボランティアの活動の後方支援。	観光に関連する情報の収集。札幌シティガイド検定の受験勉強。各月の「耳寄り情報」の作成。
17	札幌市内の講演やイベント会場で、観光案内などのガイドをしている。	そのために必要な課題を解決し、知識を充実させていく。
18	札幌で今よりも自信を持って話をしている。	日記に感じたことを書くようにしたい。
19	地元の町で（栃木）、ボランティアとして ・観光や行先案内人。 ・札幌の良さを広めたい。	・札幌シティガイドの検定のために勉強している。 ・気づいたことを考える。 ・相手を知ろうとする。
20	現在のボランティア活動の続きではあるが、より廻りの人の思考を取り入れられる、かつ思考の 방식을整理できる人として活躍したい。	今日から一歩ずつ考え方を改めていく。
21	会社で環境コミュニケーションの分野で社外への情報発信、環境パフォーマンス向上の発信者として活躍しています。	情報伝達、伝える力を向上させるための勉強会への参加、本を読む。積極的に様々な分野の方々との関係を構築していく。
22	いろいろな場所でいろいろな問題の「学習会」	いろいろな「学習会等」に参加する。